



# 令和6年度 ひたちなか市立美乃浜学園グランドデザイン

## めざす学校像

### 【ひたちなか市 教育目標】 夢・感動・笑顔がひろがる 教育のまち ひたちなか

- ひとりひとりの能力を開発し、豊かな人間性をつちかいます
- じょうぶな身体をつくり、たくましい心を養います
- 家庭や地域と力をあわせ、豊かな心を育みます
- ふるさとを愛し、協力しあう心を育てます
- 世界に視野を広げ、国際人としての自覚を高めます

### 【感動と笑顔があふれる学校】

～魅力ある学校づくりの推進～

- ・ 子ども主体で創意あふれる楽しい学校
- ・ 安心・安全に集える学校
- ・ 地域に信頼される開かれた学校

### 【校訓】

“つくりだせ 明日の君よ”

## 学校教育目標

豊かな心で 主体的に学び たくましく  
しなやかに生き抜く 児童生徒の育成  
～一人一人が輝き、夢をはぐくむ教育の推進～

### 【基本理念】

「すべての児童生徒をすべての職員で支援する」

### 【組織目標】

一人一人が自分のよさを発揮でき、  
多様な他者とつながる集団づくり

やりがい

思いやり



お互いに尊重し合う心

職員も笑顔があふれる学校に  
～人を大切にできる職員室に～

### 【笑顔があふれる職場】

- ・ やりがいのある職場
- ・ 相談しやすい職場
- ・ お互いに尊重し合える職場

- 校務分掌の見直しや日課表の工夫等により定時退勤を推奨する。
- 効率化の視点を意識した働き方改革の意識の向上と、学年を単位としたキャップ・カットの視点による業務の改善を実践する。

## めざす児童生徒像

### 【持続可能な社会の形成者】

- ・ 自ら学び、考え、正しく判断できる児童生徒
- ・ 自分を信じ、最後まで努力を重ねる児童生徒
- ・ 互いのよさや個性を認め合える児童生徒
- ・ 生きる上での基礎基本となる生活習慣が身に付いた児童生徒

## 知 授業で人を育てる

～一人一人の児童生徒を主語にした  
学びへの転換～

- 何を学ぶか、何を学んだかが分かる授業
  - ・ 本時の目標と学習課題、まとめの一貫性を図る
- 学び合う意義や楽しさが実感できる授業
  - ・ 学び合う必要感があり、多様な考え方を引き出す課題の設定
- 知的好奇心をくすぐる探究型の授業
  - ・ 疑問や感動から「調べてみたい」「解決してみたい」と思える教材の工夫
- 児童生徒のアウトプットを重視した授業
- ICT 機器を便利な道具の一つとして活用している授業

## 徳 教育活動全体で心を育てる

～学校の中の全てが  
心の教育になるように～

- 「特別の教科 道徳」が心の教育の核に
  - ・ 生徒の実態に応じた重点価値項目の設定
- QU アンケートの分析結果を活用した学級経営の充実
- 学級活動、児童生徒会活動での児童生徒の自発的・自治的な活動の充実
  - ・ 児童生徒が企画・運営する児童生徒会活動、学校行事の推進
- 相談・支援体制を充実させた「心の居場所」づくり

## 体 命を守る心と体を育てる

～「自分の命」も「友達の命」も  
大切にできるように～

- 命の大切さを実感できる教育の推進
  - ・ 心の健康の保持増進と SOS の出し方に関する教育の充実
- 自己管理能力の育成
  - ・ 危険予測・危険回避能力の向上
- 基礎体力の向上
  - ・ 体力テストの結果分析を生かした体育の授業の充実
  - ・ 自分たちで考えて主体的に取り組む部活動の推進
- 安全・安心な風土の醸成

### A ブロック (第1～第4学年)

学びの基礎力の育成

- ・ 基礎的・基本的な学習内容を身に付け、進んで学習に取り組むことができる。
- ・ 家庭学習や読書の習慣を身に付けることができる。
- ・ 明るく元気なあいさつができる。
- ・ きまりや時間を守り、みんなと仲良く生活することができる。
- ・ 安全に気を付け、楽しく運動できる。
- ・ 健康について関心を高め、基本的な生活習慣を身に付けることができる。

学習基礎定着期

### B ブロック (第5～第7学年)

社会的実践力の育成

- ・ 自分に合った学習の仕方を見つけ、意欲的に学習に取り組むことができる。
- ・ 自主的に家庭学習や読書に取り組むことができる。
- ・ 自分から進んであいさつをし、場に応じた言葉遣いができる。
- ・ 社会のルールやマナーを守り、お互いのよさを認め合う人間関係を築くことができる。
- ・ 目標に向かって運動することができる。
- ・ 健康に必要な事柄を理解し、実践することができる。

学習充実期

### C ブロック (第8～第9学年)

自ら考え主体的に行動する力の育成

- ・ 将来の夢に向かって主体的・協働的に学習を進めることができる。
- ・ 目標をもって計画的に家庭学習や読書に取り組むことができる。
- ・ 社会の一員としての責任と役割を自覚し、良好な人間関係を築くことができる。
- ・ 主体的に運動に取り組み、楽しさや喜びを味わうことができる。
- ・ 生涯の健康のために必要な知識を身に付け、主体的に健康な生活を送ることができる。

学習発展・応用期

### 【学校経営の重点施策】

- 9年間を見通したカリキュラム(指導計画)の編成・実施
- 前期課程(4年生以降)からの段階的な教科担任制の実施
- 異学年編成による体験活動(SDGsとの関連)、学校・学年行事の充実
- アントレプレナーシップの育成と課題解決型学習指導の展開
- 地域素材・地域資源を活用した教育活動の実施

